

海洋SDGsシンポジウム

参加費
無料
事前登録制

～国連持続可能な開発目標における海洋プラスチックを巡る課題と研究開発～

平成29年7月14日(金)

13:30～17:00(開場13:00)

日比谷コンベンションホール

千代田区日比谷公園1番4号 (<http://hibiyal.jp/hibiya/access.html>)

気候変動、自然災害、感染症といった地球規模の課題は、グローバルに連鎖して発生し、経済成長や社会問題にも波及して深刻な影響を及ぼす時代になってきています。このような状況を踏まえ、2015年9月に「持続可能な開発のための2030アジェンダ」が経済、社会および環境を不可分のものとする統合的取り組みとして作成され国連で採択されました。このアジェンダは、貧困を撲滅し、持続可能な世界を実現するために、17のゴール・169のターゲットからなる「持続可能な開発目標」(Sustainable Development Goals: SDGs)を掲げています。その1つである海ごみ問題は2016年のダボス会議でも緊急に対応すべき問題として認識され、同年の伊勢志摩サミット首脳宣言において、陸域を発生源とする海洋ごみ、特にプラスチックの発生抑制および削減に寄与することも認識しつつ、海洋ごみに対処することが再確認され、2016年富山環境大臣会合コミュニケおよび2017年6月ポーロニャ環境大臣会合コミュニケにおいても海洋ごみ対策の重要性が確認されました。

本シンポジウムでは、海の環境と密接に関わる我が国として、産学官が結集してこの問題に対してどのように具体的な行動を起こすべきか、課題と今後の取り組みについて議論を深めます。

- | | | |
|-------------|-------------|--|
| 13:30～13:40 | 開会挨拶 | 平 朝彦 (海洋研究開発機構 理事長)
阿部 博之 (日本工学アカデミー 会長) |
| 13:40～13:55 | 来賓挨拶 | 久間 和生 (総合科学技術・イノベーション会議 議員)
文部科学省
環境省 |
| 13:55～14:35 | 基調講演 | 環境省 |
| 14:35～15:15 | 基調講演 | 磯辺 篤彦 (九州大学 応用力学研究所 附属大気海洋環境研究センター 教授) |
| 15:15～15:25 | 休憩 | |
| 15:25～16:55 | パネルディスカッション | 白山 義久 (海洋研究開発機構 理事)
磯辺 篤彦 (九州大学 応用力学研究所 附属大気海洋環境研究センター 教授)
藤倉 克則 (海洋研究開発機構 海洋生物多様性研究分野 分野長)
柳田 康一 (花王株式会社 サステナビリティ推進部長)
岸村 小太郎 (日本プラスチック工業連盟 専務理事)
千葉 稔子 (東京都環境局 資源循環推進部 一般廃棄物対策課 統括課長代理) |
| 16:55～17:00 | 閉会挨拶 | 白山 義久 (海洋研究開発機構 理事) |

お問い合わせ先(シンポジウム事務局)

国立研究開発法人海洋研究開発機構 海洋科学技術イノベーション推進本部

TEL:046-867-9210

電子メール: sdgs_kaiyou@jamstec.go.jp

●共催:国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益社団法人日本工学アカデミー

●後援:文部科学省、経済産業省、環境省、国立研究開発法人科学技術振興機構

